

水道料金が改定

十二月一日から実施

ことし十二月一日から、水道料金を改定することになりました。水道料金は、昭和二十七年に制定して以来、据え置きのまま堅持してきました。しかし、最近の資材の高騰や水道施設の返済金が増し、経営が赤字つづきで、

苦しくなってきました。そのため、健全な水道運営のため、健全な水道運営を得て、今回の料金改定に踏み切ったのです。

十二月一日からの料金体系は、メーターの口径に応じて基本水量、基本料金を定め、基本水量をこえる水量には、超過料金を算定します。全体のアップ率は六二パーセントですが

一般家庭の多い十三ミリで

一ヶ月の基本水量を八立

トールまで二百五十円、

十立方メートルまで三百五

百円、二十

トールまで三

百円、二十一

トール、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼりつめ、本殿を横切った北の小高いところにあります。

この古墳は、山城地方に二基しか

ないめずらしい前方後方墳です。こ

の古墳は、普通よくみられる前部が

方形、後部が円形という前方後円墳

とは異なり、方形が二つ結合した古

墳で、全長八十四メートル、後方部

幅五十二メートル、高さ七メート

ル、前方部幅四十六メートル、高さ

三メートルの規模です。

古墳の発掘は、昭和三十五年、

当時の向日町が、上水道貯水槽

（文化財シリーズ②）

元稻荷古墳は、向日神社の参道をのぼ